

□ 要請番号 (JL74518B14)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
キルギス	G239 服飾		個別	新規	2年	・ 2019/1 ・ 2019/2 ・ 2019/3



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育科学省 初等職業訓練教育庁

2) 配属機関名 (日本語)

第17職業訓練学校

3) 任地 (ビシュケク市) JICA事務所の所在地 (ビシュケク市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バス で 約 0.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は1954年に設立された職業訓練校で、縫製とミシン修理、美容の3コースを実施している。その中で代表的なものは縫製コースであり、教師27名のうち13名が縫製実習を担当している。他の2コースの教師は数名いるが、残り約10名はビジネスや起業、労働法、縫製技術と機械構造、被服材料などの理論を教えている。縫製コースは10か月間、生徒は約500名。配属先は民間アパレル会社や縫製工場など18社と協力関係を結んでおり、これらの民間企業は毎年4～6月に実習生を受け入れ、そのまま卒業後の就職先となることも多い。これまでアジア開発銀行がコース運営費や教室の改修費、縫製機材の供与などを行っている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

縫製コースは技術レベルによって3つに分かれている。中卒、高卒者を対象とした無料の裁縫コース(ミシン縫いのみ)と仕立てコース(裁断から裁縫まで)、16歳から30歳位までを対象とした有料の仕立てコース(採寸、パターン作成を含む全工程)があり、修学期間はいずれも10カ月である。生徒の総数は約500名、各コースでは生徒をグループ分けしており、講義で30名程度、実習は15名程度で授業が行われている。配属先はJICAボランティアに対して有料コースの支援を求めているが、現在教師3名が生徒約60名に教えている。これらの教師は女性用コートやスーツ、上着等のパターン作成を苦手としており、生徒に対する適切な指導方法や、日本のパターン作成技術の紹介などが期待されている。また、有料コースは縫製作業の全工程をカバーしており授業時間数に余裕がないため、授業を効率的に行うためのアドバイスも求められている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- C/Pが行う縫製クラスの実習授業をサポートして、生徒への指導を行う。
- C/Pと生徒に対して日本のパターン作成技術を紹介する。
- C/Pに対して授業を効果的、効率的に進めるためのアドバイスを行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

実習室7部屋、職業用ミシン53台、オーバロックミシン15台 (SENDO、TYPICAL、GEMSY、YAMATA)、プレス機2台、アイロン12台、ほか

4) 配属先同僚及び活動対象者

縫製コースの実習担当教師13名
うち有料コースの実習担当教師3名、教師経験7～10年、全員女性、30～40歳代
有料コースの生徒:約60名、男女比1:2、16～30歳程度

5) 活動使用言語

キルギス語

6) 生活使用言語

ロシア語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（専門学校卒） 備考：確実な技術が必要なため

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）3年以上 備考：応用力が必要なため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（亜寒帯湿潤気候） 気温：（-15～40℃位） [電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可） [水道]：（安定）

【特記事項】

現地語学訓練中にロシア語に加えて、第2言語として自己紹介程度のキルギス語も学習する。